

クスノキ通信

全日本建設交通一般労働組合広島県本部
 〒七三〇一〇八五三
 広島市中区塚町二丁目二一九三〇三
 TEL (〇八二) 二三五一三〇五〇
 FAX (〇八二) 二三五一三〇五二
 e-mail
 cte303.hiroshima@orange.plala.or.jp

働かなければ生活できない高齢者の雇用問題は深刻です

評議員会でハローワークアンケートの結果を報告

六月二〇日(日)の午後、広島県労連の第七四回評議員会が開かれ、建交労から山田昭夫委員長と大平文俊書記長代行の二名が評議員で参加しました。

憲法を守る正念場のたたかいの年に

主催者あいさつで神部泰県労連議長は「国会をめぐる情勢からも憲法を守る正念場の闘いの年になっている。全国で憲法守れの闘いが広がっているが、これらから数十万規模の集会が開かれると思う」と決意を述べました。

職安に求職に来る高齢者増えている、関係者が異口同音に

一五人が討論に参加。建交労の山田委員長は、三月におこなった「ハローワー



広島県労連の第74回評議員会で、主催者あいさつする神部泰議長(写真上)と、ハローワークアンケートの結果と「働かなくては生活できない高齢者」の実態について発言する山田昭夫委員長(6月20日)

ク前アンケートの結果に触れて発言。「深刻な物価高騰に直面して、アンケートの記述欄に意見を書いた人が例年よりも特に多く、広島職安では半数近い人が意見を書いている」と。また職安の関係者からも、「物価高騰の影響か、高齢の求職者が最近は多くなっている」などの声が共通して聞かれることなど報告しました。

高齢者の雇用問題は深刻

年金が少なく、物価高騰のなか生活が苦しい人が身近にいます。生活保護を受給しようとする相談に行っても、現行の基準ではギリギリ給付が受けられない現実があり、また職安に仕事を求めていっても、面接に行くとは年齢で不採用になったり、シルバー人材センターに登録しても相応しい仕事に就けないとか。高齢者の雇用問題は深刻で、アンケートでも「公的な就労・仕事の拡大」を求める人の割合が確実に増えていることから、真剣に対応を考える必要があると思います。

政府に抗議する国会

前行動に連帯し広がる

「戦争反対! 憲法

守れ!」の声

「ナフサの供給不安」や物価高騰による国民のくらしが厳しくなっているにも関わらず高市早苗首相は、国民のくらしそっちのけで国会での絶対多数の議席を背景に「国家情報局」を設置し、殺傷能力のある武器の輸出を全面解禁することを四月に閣議決定し、「国旗損壊罪」「スパイ防止法」の制定」など自分の思いのままに「戦争国家づくり」を推進しているかのようです。

デモカレンダーで全

国に広がる市民の声

「デモカレンダー」により、国会前での高市政権に抗議する市民の動きに連帯する行動が全国で大きく広がり、六月九日には国会前行動に二万六千人が参加、全国では連帯するアピール行動が三〇〇カ所以上で行われました。(広島県内では一〇カ所で開催された)

徒然草

アメリカのトランプ政権のイランへの先制攻撃は国連のグテレス事務総長も非難する国際法違反の暴挙。イラン政府と核問題をめぐってお互いの代表団が交渉を行っているさなかに交渉を打ち切り、今年の二月二八日に先制攻撃を仕掛け、イランの学校にミサイル(トマホークミサイルと言われている)を打ち込み、少女一六八人が命を落とした◆トランプ大統領はフランスで開かれたG7サミットでこのことを記者に聞かれ「昔のことだ」と述べた。(六月一九日・毎日新聞)人の命が無くなることをなんとも思っていない冷酷無比というほかない◆トランプ政権は今年初めに南米のベネズエラの首都を攻撃し、主権国家の大統領をアメリカに拉致し裁判にかけると豪語したが、これに味をしめ、イランも数日で降伏する、アメリカ市民の支持も高まると読んでいた節もあるという。しかしイランはホルムズ海峡を封鎖し、世界経済はアメリカも含めて混乱に陥ってしまった。まさにトランプ政権が招いた読みの甘さ、「壮大な失敗」と言わねばならない◆このままでは秋の中間選挙も敗北しかねない状況に追い込まれ、トランプ政権は六月一七日、イランとの間で戦闘終結に向けた覚書(おぼえがき)を正式に交わしたが、本日に終結に向かうのか、また核問題については今後も交渉が続くといわれているが、先制攻撃で多くの罪のない市民を殺害したことの責任はどうするのか。まだまだ不透明なことが多い。(M)

核廃絶に向けて NPT ニューヨーク行動 参加の武田青年部長、内田委員が報告

広島で青年部が平和学習会と署名行動



ニューヨーク行動の報告をする
武田君と内田君 (青年部提供)

去る四月二十七日から五月二日まで、NPT(核拡散防止条約)再検討会議がニューヨークの国連本部で開催されましたが、会議の成功と、「成果文書」を採択させるため、日本からは九五人が参加して四月二十五日から五月三日まで、再検討会議ニューヨーク行動に取り組みました。

武田喜成建交労青年部長(広島県本部書記次長)と青年部委員の内田知也氏(建交労長崎県本部組合員)の二名が参加しました。

「カクワカ広島」の代表

田中美穂さんが講演

六月二〇日の午後から、建交労青年部主催で「NPT国際行動報告会・平和学習会」が開かれました。

学習会は広島市中区「ひと・まち市民交流プラザ」で開かれ、ゲストとして、「カクワカ広島」(核政策を知りたい広島若者有権者の会)の共同代表の田中美穂氏が核兵器廃絶にむけた「カクワカ広島」の取り組みをはじめ、憲法や平和の問題についてパワーポイントを使って記念講演しました。(写真下)

武田青年部長と内田青年部委員がNPT再検討

ニューヨーク行動を報告

武田喜成青年部長(広島県本部書記次長)は、「NPT再検討会議

NY行動に参加して」と題して、NPT行動日程やNPTについて、ニューヨークでの国際共同行動パレードに参加、街頭のニューヨーク市民が関心を持って反応していたことを述べるとともに、国連本部でNPT再検討会議を傍聴した様子やニューヨークのメンバー集会に参加した事、市民や労働者の支援で誕生したママダニ市長がリーダーに参加し力強く挨拶したこと、そして全労連とニューヨークの労働組合(レーバーノーツ)との交流会に参加したことやなど印象に残ったことについて詳しく報告しました。内田知也委員もニューヨーク行動の報告を行いました。



青年部の平和学習会で、記念講演する「カクワカ広島」の共同代表の田中美穂さん (青年部提供)

武田青年部長は「アメリカの労働運動と日本の労働運動が深く繋がっていること、労働組合にとって平和の取り組みが大切なことを学びました」などと感想を述べました。学習会終了後、参加者は市内の金座街で「核禁条約」の署名を訴えました。

子ズメが巣立つまであたたかく見守って！(平和公園)



(ズメの巣が見えます)

「原爆の子の像」の鐘の中にズメが巣を作っているの鐘のご利用をお休みさせていただいております」と聞いたので、現地に行ってみました。鐘の下に「お知らせ」が貼ってありました。コロナの時、つばめが巣作りをしていました。

今後の組合行動日程など

- 六・二六 網の目平和行進
- 六・二七 ダンプ企業組合理事会
- 六・三〇 建交労中国地協組織対策会議
- 七・七 七タウオーク(ドーム前)
- 七・一五 事業団・高齢者中国ブロックキヤラバン広島行動(七月一三日島根からスタート)一六日岡山)
- 七・二五 「核兵器と憲法」学習会
- 七・二六 国民平和大行進(東京ー広島コース)が広島県入り
- 八・四 国民平和大行進が広島平和公園に到着。原水爆禁止世界大会広島の開会式
- 八・五 原水爆禁止世界大会分科会二〇二六年原水爆禁止世界大会・建交労交流会(広島)(午後四時半から、広島本通り駅前カンファレンスセンター・信和広島ビル)
- 八・六 原水禁世界大会閉会式 原水禁世界大会灯ろう流し

お知らせ

※県本部の「クスノキ通信」は毎月一回発行しています。各支部や職場でのホットな話題や取り組みなど、身近な話題を、「メール」やファクスでお寄せください。メールとファクスは以下の通りです。お待ちしております。

ctg303.hiroshima@orange.plala.or.jp
Fax 〇八二一一三三三二〇五一一